平成15年度第２回規準関連小委員会議事録（案）

１．日時　平成15年7月29日（火）１１：００-１４：００

２．会場　スクワール麹町５Ｆ会議室（豊）

３．出席者（五十音順、敬称略）

梅原秀哲、橋本親典、上野　敦、江口和雄、大礒義和、小川洋二、長田光司、鎌田敏郎、北後征雄、栗田守郎、黒井登起雄、新藤竹文、杉山隆文、鈴木一雄、須田　勤、武若耕司、椿　龍哉、原田修輔、溝淵利明、宮川豊章、森濱和正、渡辺敬一、宇治公隆

４．配布資料

2-1 規準関連小委員会第１回議事録（案）

2-2-1 講習会について

2-2-2「コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法の制定と規準化が望まれる試験方法の動向」および「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」に関する講習会の開催について

2-2-3 講習会OHPの例

2-2-4 講習会参加希望者リスト

2-2-5 講習会に関する収支予算書

2-3-1 技術シリーズ「コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法の制定と規準化が望まれる試験方法の動向」講習会テキストの「序」、規準関連小委員会および塩化物イオン拡散試験方法作成作業部会の委員構成、目次（案）

2-3-2 目次（案）

2-3-3「1.はじめに」

2-3-4 電気泳動によるコンクリート中の塩化物イオンの実効拡散係数試験方法（案）

2-3-5 浸せきによるコンクリート中の塩化物イオンの見掛けの拡散係数試験方法（案）

2-3-6 実構造物におけるコンクリート中の全塩化物イオン分布の測定方法（案）

2-3-7「2.2.1 電気泳動によるコンクリート中の塩化物イオンの実効拡散係数試験方法（案）解説」

2-3-8「3.規準化が望まれる試験方法の動向」

2-3-9「3.2.10 超音波によるコンクリートの非破壊試験方法」

2-3-10「3.2.11 電磁波法による鉄筋位置の評価方法」

2-4 規準関連小委員会ホームページWG活動方針（案）

５．議事

(1) 前回議事録の確認

上野委員より、資料 2-1 を用いて前回議事録の確認が行われ承認された。その中で、エポキシ樹脂塗装鉄筋の新規格では使用されなくなった旧試験法の取り扱いが議論となり、原則削除することとした。武若委員は新旧規格試験法の対照表を作成し、梅原委員長が確認することとした。また、エポキシ樹脂塗装鉄筋、断面修復材、塩化物イオン拡散試験方法については、常任委員会で審議中であることが武若委員、宮川委員より報告された。

(2) 講習会について

杉山委員および梅原委員長より、資料 2-2-1～2-2-5 を用いて講習会に関する説明があり、以下の内容が決定した。

- 当日使用するパソコンは、土木学会保有のもののほか個人的に持参して予備とする。（梅原委員長、橋本幹事長ほか持参）
- 当日のアルバイト学生２名については坂井委員と相談する。
- 2-2-2 のプログラムには司会者の氏名（午前：上田先生@徳島大学、午後：橋本先生@徳島大学）を入れ、末尾に質問をメールにて受け付ける文章とメールアドレス（事務局：松沼さんあて）を加えて当日配布する。
- 当日は規準関連小委員会を開催するため、各委員は 9:00 に集合する。
- 講習会への参加者の状況について、事務局より全委員へ毎週連絡することとし、目標参加者数 180 名に達するよう各委員が努力を行う。

(3) 講習会テキストの目次、序文について

溝淵委員および武若委員より、2-3-1～2-3-3 を用いて講習会テキストの目次、序文について説明があり、以下の内容が決定した。

- 2.コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法と、2.1 タイトルとの間に文章を挿入し、続いて 2.1.1 電気泳動による･･･ではなく、･電気泳動による･･･のようにドットを前につけて記載することとした。
- 2.2.1 の目次タイトルを、資料 2-3-7 の本文のタイトルと同じにする。
- 2.2 各試験方法の解説に、2.2.4 拡散係数の評価における理論的背景、を追加する。
- ３章の執筆者は、氏名と担当した章を、3.3 の後にまとめて記載する。
- あとがきは削除する。

(4) 講習会テキストの内容について

武若委員より、2-3-4～2-3-7 について説明があり、以下の内容が決定した。

- 資料 2-3-4 のタイトルに（案）をつける。
- 資料 2-3-6 文中の記号を以下に修正する。Cso をCos に、Dsap をDaps にする。

・　2-3-7 の図表番号、および文章のフォーマットを修正し、2-3-8 の資料と統一する。
・　2.3.3 に EPMA の詳細な試験方法（試案）を記載するかについて議論があり、本委員会で未承認の試験方法が一人歩きするのを防ぐために、試験概要を紹介する形に修正し記載することとした。
・　以上のテキストの修正は、武若委員および杉山委員が行う。
・　2-3-1～2-3-10 までの資料について、意見があれば 7 月 31 日までに溝淵委員へ送ることとした。

(5)ホームページについて

鎌田委員より、2-4 の資料を用いて説明があり、以下の内容が決定した。

・　更新された土木学会規準をホームページ上で全文掲載するか否かは、継続して審議することとした。
・　データ保管場所は、土木学会のドメイン内とし、コンクリート委員会/規準関連小委員会の下部とする。
・　種々の質問に対応するために各規準担当ＷＧを形式上存続させることとし、次回委員会で担当を決定する。

(6)次回委員会日程

９月９日（火）９：００～１７：００

(7)次回議事録担当

次回の議事録は、新藤委員にお願いする。

以上：文責　小川洋二